

株式会社アイテック 新eラーニング教材

「ESG概論（ESGアドバイザー検定ベーシック対応）」をリリース
～経営者とESG担当者必見の総合教育プログラムで、持続可能な未来を実現～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）の子会社である株式会社アイテック（本社：東京都港区、代表取締役社長：加納 敏行、以下「アイテック」）は、2024年10月1日（火）、ESG経営を概括的に学べるeラーニング教材「ESG概論（ESGアドバイザー検定ベーシック対応）」（以下、ESG概論）をリリースいたします。本教材は、ESG経営の基礎知識を習得し、持続可能な企業経営を目指す経営者やESG担当者向けに最適な内容となっています。



ESG概論（ESGアドバイザー検定ベーシック対応）で学べること

「ESG概論」は、一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会（SP2）が提供する「ESGマーク認証制度」の全101項目に基づき、ESGについて概括的に学べるeラーニング教材です。ESGの基本的な理解から、環境・社会・ガバナンスそれぞれの具体的な取り組みまで、初心者にも分かりやすい内容となっています。

本教材は4つの章（「ESGの基礎知識」「環境」「社会」「ガバナンス」）で構成され、講義動画とWebテストを組み合わせることで、効果的に知識を身に付けることができます。企業のESG推進におけるリーダー役を目指す方にとって、不可欠な知識を習得することが可能です。ESGの知識は、今後あらゆるビジネスシーンに生きるスキルとなります。本教材はESG経営推進のための社内人材育成を支援いたします。

また、本教材は「ESGアドバイザー検定ベーシック」に対応しており、資格取得を目指す方の試験対策としても活用できます。

詳細はこちら：https://www.itec.co.jp/store/products/detail.php?product_id=3890



コンプライアンスに関する基本的な考え方②

- コンプライアンスの基本方針の策定に当たっては、経営の基本方針、経営計画・経営戦略を踏まえたリスクや、一般的なリスク等の**自社のリスクを洗い出した上で**、コンプライアンスに対する**基本方針を決定**する。
- 基本方針の中には、コンプライアンスの定義、基本的な考え方、遵守すべき基本的な事項などが記載されることがある。

<A社：コンプライアンスの定義を記載する例>

- 第1 コンプライアンスの定義
- 1 「コンプライアンス」とは、法令等を遵守することをいう。
 - 2 「法令等」とは、法令、条例等及び機密の定義並び規程に加え、社会倫理、社会的規範、モラルなど、機構が社会的役割を果たすために必要なルールの全てをいう。

<B社：行動規範を記載する例>

- 【行動規範】
1. 社会に対して
 - 1) 法令の遵守と社会常識に則した行動
法令や社会規範を正しく理解し、遵守するとともに、社会から不信を招く行為は行いません。
 - 2) 社会貢献

<C社：基本的な考え方を記載する例>

- 基本方針
- 1) 利益とコンプライアンスが相反する場合は、迷わずコンプライアンスを優先します。
 - 2) 社会的責任と公共的使命を認識し、社会から信頼される誠実な会社を目指します。
 - 3) 法令その他の社会規範を遵守し、正直で透明な企業活動を行います。
 - 4) 顧客、取引先、社員、株主等を尊重し、社会経済の健全な発展に貢献します。
 - 5) 違法行為や反社会的行為に関わらないよう、良識ある行動に努めます。
 - 6) 反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨みます。
 - 7) 社会に対し、積極的な情報開示を行い、透明な経営に徹します。

(図：ガバナンスよりコンプライアンス基本方針)

ESGアドバイザー検定ベーシックに対応

ESGアドバイザー検定は、一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会（SP2）が認定する資格制度であり、企業がESG経営を推進するための基礎知識を証明するものです。認定ESGアドバイザーは、企業が持続可能な経営を実現するためのESGマーク認証制度を支援する役割も担います。

近年、ESGへの対応が企業の競争力の鍵となり、特に中小企業では専門家の支援が不可欠となっています。ESGアドバイザーは、そのような企業のESG推進をリードする重要な役割を果たす存在です。

詳細はこちら：<https://www.sp2.or.jp/esg/>

ESGとは

ESGは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったもので、企業の持続可能な経営に不可欠な3つの要素を指します。具体的には、気候変動対策を含む環境への配慮、労働環境や人権問題への社会的責任、そして透明で公正な経営体制の構築が含まれます。現代の企業経営では、これらに取り組むことが長期的な成長と企業価値の向上に直結しています。

現在、日本企業は原材料の高騰や人材不足、気候変動や投資家の意識変化など、さまざまな課題に直面しています。このような中、ESG経営は企業が長期的に持続可能な成長を遂げるための「ドレスコード」としてますます重要性を高まっています。大企業のみならず、サプライチェーンを構成する中小企業もESGへの対応を求められる状況にあり、今後ESGの取り組みが企業存続に直結すると考えられています。

株式会社アイテックについて

アイテックは「ITパスポート試験」をはじめとするITエンジニアの登竜門である情報処理技術者試験対策支援に強みを持ち、IT初学者のビジネスパーソンから高度IT人材まで、書籍、eラーニング、模擬試験、研修等を通じて、創業以来41年間、企業各社様の持続的発展に貢献すべく、延べ法人11,000団体、130万人の皆様にご教育サービスを提供。2022年3月には「デジタルリテラシー協議会」の活動方針への賛同を表明しました。

今後も日本産業界全体のデジタル人材育成を加速するため、DXを推進する組織・企業のデジタルリテラシーの向上に貢献してまいります。

■会社概要

社名 : 株式会社アイテック
代表 : 代表取締役社長 加納 敏行
設立 : 2005年6月7日
所在地 : 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町6F
URL : <https://www.itec.co.jp/>

株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する次世代経営コンサルタント集団であるフォーバル（資本金：41億50百万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名 : 株式会社フォーバル
代表 : 代表取締役社長 中島 将典
設立 : 1980年（昭和55年）9月18日
所在地 : 東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号 青山オーバルビル14階
URL : <https://www.forval.co.jp>